



We serve

IWATA LIONS CLUB REPORT

[2018.7~2019.6]



本年度 家族会

国際テーマ

WE SERVE(われわれは奉仕する)

334複合地区スローガン

「We Serve」前向き思考で真の奉仕と大きな感動

334-C地区スローガン

誇りを胸に、真心の奉仕 “We Serve”

磐田ライオンズクラブ

スローガン 利他の心と、感謝の心で、繋ぎ紡ぐ寄り添う奉仕

努力目標 絆を深め、愛と光と奉仕の心を、
地域社会に展開していこう

2019. 1

会長挨拶

新年あけましておめでとうございます。

会長就任以来早くも折り返しの半年が過ぎました。試練は多々ありましたが皆様の温かいご支援ご協力のお陰でクラブ運営・事業を何とか乗り越えることが出来、衷心より感謝申し上げます。

激動の昭和から平成へと、一つの時代が後4ヶ月でその歴史に幕を下ろし、新しい時代を迎えようとしております。めまぐるしく変貌を遂げる時代の波に沿い、地域と共に新たな価値を創造するクラブでありたいと願います。

初の女性国際会長イングバドター会長が、ライオンである上で重要なのは、伝統の名の下に毎年同じ活動続ける事ではなく、最も効果的に奉仕出来る方法を見つけ出す事であると言われております。

本年度は新しい試みのアクティビティとして、ライオンズパークの整備、ジュピロスタジアムでのPR活動、軽トラ市での市民を巻き込んだサンタパレードや募金活動にも取り組み、大変多忙な中にも会員が一丸となって向った充実感や楽しさを得ることが出来ました。

然しながら目標の会員拡大、純増10名が果たされておりません。後期も任務を全う出来るよう誠心誠意取り組んで参る所存ですので、ぜひともお力添え頂きたいお願い申し上げます。

会員の皆様には2019年が健康で素晴らしい年でありますようご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



会長
L. 飛田 紗有李

静岡産業大学にて献血運動



昨年度の献眼登録事業の成果により、第29回静岡県アイバンク表彰で磐田ライオンズクラブが表彰されたばかりの中、7月のジュピロード夏祭りが雨で中止となり、ひと月ほどかけて念入りに準備してきた献眼登録事業が宙に浮いてしまいました。途方に暮れながらも代わりの事業として、軽トラ市・アビタ磐田店でのアイバンク運動を急遽企画させていただきました。手法や場所などで初の試みの事業で、事業イメージも湧きにくいなか、のべ36名ものメンバーに参加していただき、合計200名を超える方に献眼登録カードを書いていただきました。本事業が成功したことは、ひとえにメンバーの長年培った現場力のなせる業だと感服いたしました。本年はまだ献血2事業が残っております。今後とも三献事業にご協力をお願いいたします。

献眼献腎献血委員長 L. 村松 正浩



▲中日新聞 2018年10月25日掲載



第26回献眼者合同慰霊祭



中日新聞
2018年10月21日掲載

献眼者に感謝

献眼活動に取り組む中東遠地域のライオンズクラブ（LC）による第26回献眼者合同慰霊祭が二十日、「目の霊山」として知られる磐田市村松の油山寺で営まれた。写真。ホストクラブの菊川LCをはじめ、地域内十一のLC会員や献眼者の遺族、来賓ら約二百人が参列。角膜炎を患った献眼者に慰霊を捧げた。中東遠地域のLCは、没後に角膜炎を患った人のために一九九三年に油山寺境内に慰霊碑を建立。毎年秋に同寺で慰霊祭を営んでいる。献眼者の累計は今年八月末現在で二百三十二人となった。（土屋祐二）



静岡新聞
2018年10月23日掲載

ライオンズパーク草刈り

今年度はライオンズパークの整備を行いました。内容は、北側のライオンズ記念石碑から約20mの区間に雑草防止のため木片チップを敷詰め、人の動線を作り、西面には花壇を2箇所設置し、花を植えました。ライオンズパークの風景も大分変り良いものになりました。

10月28日(日)に二之宮二丁目自治会と中部電力磐田営業所の皆様と合同で、草刈りを実施しました。大勢参加していただき、1時間程度できれいにすることができました。

次回も多くの皆様のご協力ご参加をお願いします。

環境福祉委員長 L. 八木 京一



ライオンズパーク草刈り&整備

軽トラ市

12月9日(日) 本年度LCIFクラブ献金目的の資金獲得事業として軽トラ市に参加出店しました。

サツマイモ、ジャガイモの植付から収穫、加工、販売まで会員の手により行われ、又バザー一品も会員の拠出により集められました。昨年に引き続きの焼き芋販売。他店舗との競合により単価の修正をしたりと大忙しでしたが、今回は天候も良く作業要領、店頭販売も板につき、焼き芋300本、レタス80玉は完売し、バザー品及びポテトスティック等も大盛況の中ほぼ完売しました。売上もほぼ目標を達成し、LCIFにクラブ献金として送ります。メンバーの方々の多くのご協力に感謝いたします。有難うございました。

幹事 L. 小林 秀樹



“みんなでサンタクロースになろう!”は、多くの人が集まる磐田駅前軽トラ市で、サンタクロースの格好をして歌ったりパレードすることで注目を集め、募金活動とともに磐田LCのPRもしてしまうというよくばりな新しい企画でした。準備期間は短かったのですが、一般の人34名、メンバー合わせて総勢43名と犬1匹のサンタ集団となり、静岡新聞にも載りました。募金は“あなたは誰のサンタクロースになりますか?”のキャッチコピーの下、「世界中の困窮者達の」「盲導犬の赤ちゃんの」「磐田市内の支援を必要とする子供達の」の3つの募金箱を作り、好きな所に入れてもらいました。また、今回製作した磐田LCのQRコード付ポケットティッシュを、パレード中配りPRしました。皆さんの協力で、目的達成とともに、磐田の街に元気を届ける楽しい時間となりました。

LCIF財務委員長 L. 齋藤 滋子

“みんなでサンタクロースになろう”

サンタ姿で募金 呼び掛け 磐田・軽トラ市 LCが慈善パレード



サンタクロースなどの仮装をして歌を歌うパレード参加者
—磐田市内

磐田のLCIF磐田北口支部(会長 佐藤 浩一)が、12月9日(日)の軽トラ市(会場 磐田駅前)に出店した。市内から約30人が参加し、サンタクロースなどの仮装をして歌を歌うパレードに参加した。募金活動とともに、LCIFのPRも行う。市内の困窮者達や盲導犬の赤ちゃんの支援を必要とする子供達の募金箱を作り、好きな所に入れてもらいました。また、今回製作した磐田LCのQRコード付ポケットティッシュを、パレード中配りPRしました。皆さんの協力で、目的達成とともに、磐田の街に元気を届ける楽しい時間となりました。

▲静岡新聞 2018年12月11日 掲載

新会員 ご挨拶



L. 松本 健司

先日、入会した時の例会では、メンバーの皆さまに温かく迎えて頂きまして、大変感激致しました。

世界的な組織ということで、緊張しますが、お顔を存じ上げている方も何人かいらっしゃいましたので、安心することが出来ました。お仲間に加えて下さった皆さまの気持ちにお応えできるように、まずは、お顔と名前を覚えて、活動を頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



L. Chowdnury Xavier

(チュウドリ ザビエル)

別紙をお読み下さい。



L. 元場 友美

今回原稿をお願いしましたが、年末年始の忙しさと体調不良との事で頂けませんでした。次の機会にご本人のお言葉を掲載させていただきます。

8月25日(土)は愛知県新城市にある寒狭川広見ヤナにて鮎のつかみ取り&鮎料理を堪能し、豊川稲荷を参拝後、帰りは2台のバスを中継しながらの大ピンゴ大会と盛りだくさんの家族会を開催しました。直前に大雨が降り、開催できるかどうかハラハラしましたが、当日は雨も上がり、ライオンズメンバー25名、家族33名、合計58名の方にご参加いただきました。

また、12月20日(木)は第2例会&研修会を、いつもとは会場を変え「ラトリエ ドゥ マリエ」にて開催致しました。出席者46名全員参加のロシアンルーレット&大じゃんけん大会はお楽しみいただけたことと思います。

大会計画委員会のアクティビティは、残すところ6月のさよなら例会です。引き続き皆さまに楽しんでいただけるような企画を考えていきますので、ご期待ください!!

大会計画委員長 L. 高田 ちはや

家族会



研修会



ジュピロスタジアムにて磐田LCのPR活動



ふれあい広場にて

青少年YCEクエスト委員会の活動として、本年度はまず例年同様、10月に国際平和ポスターコンテストを行いました。幸いにも当クラブにて最優秀賞に選ばれた作品が、今度は地区の最優秀賞に選ばれており、喜ばしい限りです。

また、若年層への薬物乱用防止の啓発活動として、9月に商業施設のアピタにて、10月にジュピロスタジアムにてPRを行いました。当日は静岡県庁健康福祉部生活衛生局薬物課の協力の下、「ダメ、ゼッタイくん」の着ぐるみ等をお借りして、若年層へより身近で効果的なPR活動を行うことができたと思います。

青少年YCE委員長 L. 斉藤 伸



ふれあい広場 国際平和ポスターコンテスト、展示、表彰式、献眼登録運動

編集後記

MC委員長
L. 鈴木 安弘

新年明けましておめでとうございます。

昨年アクティビティは天候に悩まされましたが、各委員長の皆様は随時対応されご苦勞様でした。

今年も有効なPR活動を行いたいと思います。皆様方のご協力を宜しくお願い致します。